

相鉄線（星川駅～天王町駅）の下り線を高架橋へ切り替えます

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業は、平成 14 年度の事業着手以降、14 年の歳月を経て、平成 29 年 3 月 5 日に下り線を高架化することになりました。下り線の高架化後は、平成 30 年秋の全線高架化を目指し工事を進めていきます。

平成 29 年 3 月 4 日（土）の最終電車から翌 5 日（日）の始発電車までの間に、地上部の下り線を高架橋へ切り替えます。

下り線が高架化されると、高架区間内の踏切の遮断時間が 3 割から 4 割程度減少し、交通渋滞の緩和、踏切利用者の快適性の向上など大きな効果が期待できます。

なお、荒天の場合は、翌週の 3 月 11 日（土）～12 日（日）に変更します。



【参考】今後のスケジュール

平成 30 年秋の全線高架化後、既存線路の撤去、星川駅、天王町駅の改築工事、周辺道路の整備を進めていきます。

現地での取材を希望される場合は、2 月 28 日（火）までに下記の間合せ先へご連絡ください。

お問合せ先

道路局企画課 鉄道交差調整担当課長 上田 祐一郎 Tel 045-671-2757